

2020年のトッケンだよりは、
ちよっとだけ変わります。

「トッケンの今をお便りします」というコン
セプトで、社内の様々な出来事をメイ
ンに発信してきたトッケンだより。
今年はずっと内容を変えて、私たちトッ
ケンのモノづくりの根っこにある考え方、
大切にしていることを読者の皆さんと共
有していきたいと考えています。

「感覚統合」「36の基本動作」

トッケンが遊具の企画・開発をする上で、
とても大切にしている2つのことです。
具体的には、「身体が感じた様々なことを
整理する脳のはたらき」であり、「人間の
基本的な動きを分類した動作」のことを
言います。
それぞれ、幼少期の身体をつくるうえで
とても大切なことです。もつというた
主はこの2つのことからこども達は生き
る力を育んでいきます。

こどものあそびに、夢と未来を。

トッケンの新しいスローガンです。こど
もにとつて生活のすべてが「あそび」で
あり、「あそび」から様々なことを学んで
いきます。そんな「あそび」の場をより
良く、より楽しくするために存在するの
が、私たちがつくる遊具です。

トッケンだよりという紙面を通して、私
たちも改めて、真面目に、そして楽しく
「感覚統合」と「36の基本動作」について
学んでいきたいと思えます。その学びを
読者の皆さんとシェアすることで、「こど
ものあそび」の場が、より良く楽しい場
になると良いなあと思っています。

そして、トッケンの製品に込められた想
い、考えを感じてもらえると嬉しいです。

トッケン企画開発室

知っておきたい 感覚統合

保育・特別支援の現場でよく聞く「感覚統合」という言葉。
こどもの成長と一体どんな関係があるのでしょうか。
連載で少しずつお伝えしていきます。

第1回「感覚統合ってなんだろう？」

感覚統合とは？

身体で感じた複数の感覚を、整理したり
まとめたりする脳のはたらきのことです。

人間は五感(触覚、視覚、聴覚、味覚、嗅覚)
と二覚(固有覚、前庭覚)の計7つの
感覚から絶えず刺激を受けています。
感覚統合によって膨大な量の感覚を
整理し、受け入れる量を調節しているた
め、その場に応じた動作や注意の向け方
ができるのです。



[日常生活で受ける刺激の例]

3つの基礎感覚

[3つの基礎感覚のはたらき]

- 前庭覚** 身体の傾き
スピード、回転
- 固有覚** 身体の位置
力の入れ具合
- 触覚** 温度、痛み
柔らかさ

感覚統合と発達

感覚統合はそれぞれの感覚を感じ取る
ところからスタートします。

「姿勢を保つ」「目で追う」などの簡単
に思える動作も、適切に調整された感
覚を組み合わせることで初めてできる
ようになります。



前庭覚
身体の向きを
調整する
+
固有覚
適切に
力を入れる
↓
姿勢を保つ

[姿勢を保つ動作に必要な感覚]

トッケンの 感覚統合おすすめ遊具

ジャンプ・シリーズ

姿勢を維持できない子でも遊べるので、感覚統
合の初歩の段階から使用できる遊具です。

効果 前庭覚、固有覚、触覚を刺激、達成感
眼球運動のコントロール、動きたい気持ちの発散



初級：ゆりかご
シートに座ったり寝転
がったりした状態で大人
が揺らす。

手をつないで一緒に跳
ぶ。慣れたらひとりで跳
んでみる。



上級：動作の組み合わせ
跳びながら手を叩いた
り、キャッチボールをし
たり。



- 制限体重 **35kg**
小型ジュニア
ジャンプT型
- 制限体重 **50kg**
新ジュニアジャンプ
- 制限体重 **70kg**
コイル式ロータリー
ジャンプT型
- 制限体重 **100kg**
スーパージャンプ 60

ジャンプで遊ぶ前に

末永くお使いいただくために、定期的なメンテ
ナンスを行ってください。お早めの修理・交換
をお願いいたします。



	標準耐用年数	チェック項目
フレーム	10年以上	変形・亀裂がないか
スプリング	1～2年	折れ・伸びがないか
シート	3～4年	破れや金具の破損はないか
安全カバー	3～4年	ほつれや破れがないか

ジャンプの部材のお取り扱いもごさいます。
詳しくはお問い合わせください。

TEL: 045-717-8022



こどもの生きる力を養う 36の基本動作

人間の基本的な動きは36種類に分類できるとされています。幼少期にたくさん経験し、バランスよく身につけることが望ましいとされている「36の基本動作」から、毎回ひとつの動作をとりあげ、その動きがこどもの生きる力にどのようにつながるのか、多角的に検証していきたいと思っています。

【第1回】 操作系の動き **投げる**

「投げる」という動作

幼児期に習得しておくことが望ましいとされている「36の基本動作」の中でも「投げる」という動作は、**近年極めて劣っている**と言われています。それは、知育(勉強)主導、遊びの室内化(電子ゲームなど)空地等の減少など、様々な社会的要因が考えられます。

「投げる」という動作は様々なスポーツに関わっているため、**投げるのが苦手だと運動意欲の減退にも繋がります**。幼少期の運動による刺激は身体だけではなく脳の発達にも影響が見られ、やる気、活力などにあらわれるため、健全な脳の発達に繋がるとも言われています。



【解説してくれるのは】

山田秀一 せんせい

株式会社トッケン
スキルアップスポーツクラブ

適切な指導と旧来の常識にとらわれることのない発想で、社会体育に新しい流れを切り開く体育・健康づくりのバイオニア。
<https://www.sogo-taiku.co.jp/>

「投げる」動作を 取り入れたあそび



●後頭部に片手を隠したじゃんけん遊び

最初は「グー」で、後頭部辺りから手を胸の前に振り出す動作は玉投げそっくりな形です。



●【応用編】子どもにお手玉を握らせて

最初は「グー」で手を振らせ(グーなので玉は離さない)次に「じゃんけん」で再び玉を持った手を後頭部まで戻します。最後に「パー」と言って玉を離します(パーなので比較的自然的に玉が離れる)。

実際に私は3才になりたての子どもたちと楽しく玉投げ遊びをしています。みるみる上達しますよ！

トッケンの「投げる」遊具



玉あて名人

腕を振る動作が3才で十分にできるようになります。少しでも当たればベタッとくっつくので、もっとやりたい！と活動意欲が活性化し、何回も投げる動きを繰り返したくなる遊具です。



多機能玉入れ台

投げる力、コントロール、空間認知力(距離感)が身につく、投げることに特化した遊具です。

流れ星のラストボール



うまく投げられると、きれいな放物線を描くので何度も挑戦したくなります。下手投げから徐々に上手投げにしていくと上手に投げられます。

プレイベース

ビニール製の起き上がり遊具なので、ボール当ての的にピッタリ。ボールのサイズ、的までの距離などに変化を付ければ、様々な「投げ」が身につきます。

TOPICS

トッケン社内トピックス

1. ふわふわぬいぐるみにメロメロ。。

とある新製品で一緒に遊ぶ方の打ち合わせを行いました。サンプルを持ってきていただいた、ほわほわの触り心地のぬいぐるみ達を前にして笑顔がこぼれます。打ち合わせではクマちゃん愛に溢れたお話も聞きました。一緒にかわいいものができそうだととてもワクワクです☆

2. 教育現場のICT機器の現状

県内の養護学校にICT機器(PC、プロジェクタ、デジタルカメラ等の情報機器のこと)の活用状況についてヒアリングをしてきました。写真は空気圧を利用して、小さい力でスイッチを押せる機械。タブレットやパソコンの視線入力と組み合わせて使うそうです。ICT機器だけではうまく使用できないため、こどもの特性に合わせて使えるオプショングッズが求められていることを実感しました！

3. 新型二輪 コンテナで到着

今春発売予定の新型二輪が大きなコンテナに乗って到着しました。脚立を使つての大

掛かりな荷降ろしです。商品部門、塗装部門、営業部、企画開発室総出で取り組みました。1階だけでなく2階のスペースも駆使しながら搬入、荷降ろし・検品ともに無事完了です！みなさん寒い中お疲れさまでした！

4. 商品写真撮影

二輪到着の次の日は、早速商品写真の撮影です。特徴的なフレームのカーブが伝わるように、ライティングにもこだわりました。様々な角度から商品の魅力をお伝えできると思います。チラシなど販促の準備を進めていますのでもししばらくお待ち下さい！

5. 九州の展示会に出展しました！

発達支援商品コーナーで「玉あて名人」等の運動遊具やカード教材各種を展示しました。児童デイサービスを併設している園様も多く、支援の必要な子供たちへの発達支援商品に興味を抱く方が非常に多かったのが印象的でした。他社様の動画コンテンツが好評だったとのことで、トッケンチャンネルも負けてられない！と動画編集にも力が入ります^^;

